

事業概要

事業No.	1		
年度	令和4年度		担当課 文化課
事業名称	地域ふれあいコンサート		
主催者	第27回ふなばし音楽フェスティバル実行委員会、船橋市、船橋市教育委員会(文化課)、各実行委員会		
開催経緯等	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体が中心となって実施した「千人の音楽祭」を契機に、平成7年度から「ふなばし音楽フェスティバル」の一事業として開始。 従来より、各公民館で行われていた演奏会を、地域ふれあいコンサートに位置付けたほか、長年の取組みの中で、地域の中で新たに実行委員会を組織し、会場数を拡大してきた。		
事業趣旨(目的)	市民に身近な施設である公民館等を会場に、気軽に良質な音楽の生演奏を楽しむ機会を提供するために実施している。 また、事業の企画・運営は市民を中心としたボランティアによる実行委員会が担い、市民の力を結集し創意工夫のもと事業展開する“音楽のまち・ふなばし”ならではの事業となっている。		
第2次基本方針における事業の位置付け 3段階評価	気づき始まる	3	該当施策(選択) 基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供
	学び楽しむ	3	
	育みつながる	2	
	活かし伝える	1	
参考指標	参加者数	指標値	1,800人
指標値設定の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者数に制限を設ける可能性があるため、コロナ禍開催以前の実績値の50%程度を指標値とした。		
事業内容	「地域ふれあいコンサート」 公民館など身近な場所で、プロの演奏家等によるコンサートを開催し音楽に親しんでもらう。 令和5年1月～4年3月 開催会場数：市内16会場		
(令和2年度実績を受けて)協議会からの助言・提案等	オンライン配信という新たな試みを実施し、コロナ禍においても音楽を楽しむ市民の要請に工夫した対応ができたことは評価できる。 生の音楽に触れる機会は大切だが、オンラインによる実施に対する市民の反応も高く、配信を多くの方に視聴いただいたことは、大きな成果だと考える。 コロナ収束後においても、演奏を生で楽しむということを基本にしなが、オンライン・アーカイブを併用し、地域に根付いた貴重な事業を継続・発展していくことを望む。 その際は、実行委員・市民の関心がより高まるよう、企画内容だけでなく、広報媒体や予約方法も工夫し、運営上のクオリティの向上を目指してもらいたい。		
協議会からの助言提案等を受けてのコメント	プロによる質の高い生演奏を気軽に楽しめる場を提供することを念頭に、今後も開催方法等を各実行委員会と共に模索しながら取り組んでいく。様々な環境下でのコンサート開催を想定して予約方法等の企画運営を市民ボランティアと共に検討していく。		
予算額	市予算	1,360,000円	
	国・県等補助等(名称:)	0円	
	協賛・他県等負担金	0円	
	その他(入場料収入等)	未定	
	計	1,360,000円	

事業実績

年度 令和4年度 担当課 文化課

事業名称	地域ふれあいコンサート		
開催実績	<p>開催会場数:市内公民館等16会場、参加者数: 出演者 52名 来場者 1,692名</p> <p>場所(日時)、内容</p> <p>①薬円台公民館(2月4日)、ピアノとコントラバスによる演奏</p> <p>②北部公民館(2月4日)、民話の語りと三味線演奏及び民謡の歌唱</p> <p>③宮本公民館(2月18日)、歌とダンスで楽しむハワイアンミュージックコンサート</p> <p>④西部公民館(2月18日)、ジャズ</p> <p>⑤法典公民館(2月18日)、邦楽器尺八と洋楽器ギターのアコースティックサウンドコンサート</p> <p>⑥丸山公民館(2月18日)、ヴァイオリン・チェロ・ピアノのアンサンブル(クラシック・映画音楽等)</p> <p>⑦東部公民館(2月19日)、マリンバとドラムのコンサート</p> <p>⑧三田公民館(2月25日)、木管五重奏</p> <p>⑨習志野台公民館(2月25日)、6弦と11弦ギターコンサート</p> <p>⑩二和公民館(2月25日)、クラリネット・ピアノ・ヴォーカルによるジャズコンサート</p> <p>⑪八木が谷公民館(2月25日)、金管五重奏</p> <p>⑫三咲公民館(2月25日)、箏と尺八のコンサート</p> <p>⑬夏見公民館(2月25日)、尺八とギターの演奏</p> <p>⑭坪井公民館(2月26日)、ピアノ・トランペット・ベース・ドラムのジャズコンサート</p> <p>⑮小室公民館(3月5日)、トランペット・サクスのコンサート</p> <p>⑯浜町公民館(3月11日)、歌とピアノのコンサート</p>		
指標値(実績)	1692	情報発信方法・媒体	広報ふなばし、HP、チラシ、ポスター配布
決算額	市予算	1,227,508円	
	国・県等補助等(名称:)	0円	
	協賛・他県等負担金	0円	
	その他(入場料収入等)	235,400円	
	計	1,462,908円	
実施後一最も関連の深い基本目標と施策を選択	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供		
一次評価			
目的に対する事業実績の達成状況	令和4年度は予定どおり16館で開催した。各実行委員会がコロナ禍での現地開催方法を模索し、工夫を凝らしながら実施し、ほとんどの会場で定員に達した。観客からは生演奏を喜ぶ声を多くいただき、出演者の演奏面だけでなく、トークに魅了された方もいて、年に複数回開催してほしい、との声もあり、大好評だった。		
今後の事業課題	コンサートに年齢制限を設けることについて、判断が難しいとの意見があった。乳幼児や子供の声が演奏中に響くことの懸念がある一方、小さな子供も一緒に楽しめる演奏会も必要、とする意見もあり、今後の対応を検討する必要がある。		

協議会委員評価欄

文化振興との関連性	密接に関連する		協議会からの助言・提案等
	関連がある		
	関連性が薄い		